

議 会 事 務 局

【総括】

鳥羽市議会では、平成 22 年の鳥羽市議会基本条例の制定をはじめ、これまでに多くの議会改革を実施してきております。平成 30 年度は、これらの取り組みの更なる充実を図ることに加え、議会基本条例に基づき、議会が市民の代表機関としての役割を果たすとともに、議会に対する市民の関心を高め、より市民に開かれた議会となることを目指してきました。

この目指すべき方向を鳥羽市議会として今後も継続できるよう、市議会だよりの発行はもとより、インターネット、ケーブルテレビ、SNSでの本会議、委員会の発信及びTOBAミライトークの開催など継続実施に加え、小中学生を対象とした議会開放デーを実施しました。

このような取り組みにより、雑誌「日経グローバル」において、全国815の市区議会の議会改革度調査が4年ぶりに実施されました。そこで鳥羽市は、議会活力度20位、公開度1位という評価をいただきました。

本会議における請願については、船津町樋ノ山に建設予定の太陽光発電所に反対決議を求める請願など8件を採択しました。

予算決算常任委員会では、当初予算や補正予算のほか決算認定にかかる審査を行い、当初予算審査及び決算認定審査では、その日審議した予算・決算の内容について議員間討議（振り返り）を行いました。中でも、決算認定にかかる審査で各種事業を洗い出し、委員間で一致した事業のうち4項目を取りまとめ、新年度当初予算編成前に提言書として市長に手交しました。

議会改革推進特別委員会は2回開催し、災害及び突発的な事故等により、必要となる維持補修、工事及び支援活動で緊急を要する歳入歳出予算を補正することを専決処分事項に追加するなど、7件を決定しました。議会改革は、議会運営や議会力の向上など、議会の活性化の一翼を担っています。

行政視察の受入状況は、28団体、268人が本市に視察いただき、本市議会の議会改革（特にICT化）に関するものが約8割、執行部（観光課、農水商工課、企画財政課など）の各施策に関するものが約2割でした。なお、視察受け入れの際には、市内に宿泊していただくことを条件とし、市内宿泊産業の活性化に結び付けています。

【新たに実施した事業】

新たな取り組みでは、夏休み企画として小中学生を対象とした議会開放デーを実施し、3組6名の参加がありました。広報周知期間が短かったこともあり、参加者は少なかったものの、これを機会に次年度以降の事業に結び付けていくこととしています。

また毎年、総務民生常任委員会、文教産業常任委員会、議会運営委員会の3つの委員会委員において、先進地へ行政視察を実施しています。

議会改革の観点から本年度より各委員において、視察報告書を自ら作成するとともに、市議会ホームページで公開しました。

【予算執行を伴わない事業】

鳥羽市議会図書室と鳥羽市立図書館及び三重県立図書館との連携も継続しており、引続き書籍や文献の検索や貸し出しを受けています。

本市議会における政務活動費の収支状況については、平成29年度の収支状況・活動報告及び提出された請求書・領収書等を平成30年8月に議会ホームページにおいて公開しました。

(款) 1 議会費

(項) 1 議会費

(目) 1 議会費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
135,510	131,477					12	131,465

事業区分 1 議会給与等管理費 131,477千円 事項別明細書 P 48 ~

本会議	予算現額	181 千円
	決算額	101 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額) 105 千円

平成30年度の議会運営は、平成30年5月15日に本会議を開催して以後、延べ23日の本会議を開催し、一般質問は延べ22人、45件の通告が、議案質疑は延べ4人、6件の通告がありました。

また議決件数については、原案可決66件、同意5件、認定2件、採択8件、了承7件、選挙・その他1件の合計89件でした。

平成31年3月29日には税制日切れ法案にかかる市税条例等の上程を受け、本会議において議案質疑及び表決を行いました。

また恒例の真珠議会は、鏡浦小学校児童22名による合唱（われは海の子、歌えバンバン、たんぽぽ）が披露され、真珠議会の開会に華をそえていただきました。

- 主な経費 旅費 101千円（費用弁償 101千円）

1. 会議の開催

会議名	本会議	出席人員	一般質問		議案質疑	
5月15日会議	1日	13人				
6月6日から6月26日までの会議	5日	64人	7人	12件	1人	2件
7月17日会議	1日	13人				
9月6日から10月2日までの会議	4日	51人	2人	6件	1人	1件
10月26日会議	1日	13人				
12月3日から12月21日までの会議	5日	63人	6人	12件		
2月27日から3月29日までの会議	6日	78人	7人	15件	2人	3件
合計（延べ数）	23日	295人	22人	45件	4人	6件

2. 議決件数内容

区 分	5月15日	6月	7月17日	9月	10月26日	12月	3月	合計
原案可決	1	6	1	10	1	11	36	66
修正可決								0
否 決								0
同 意				2		2	1	5
承 認								0
否認・不承認								0

本会議

認 定				2				2
採 択		2		4		1	1	8
趣旨採択								0
継続審査								0
不採択								0
了 承		2		5				7
選挙・その他		1						1
合 計	1	11	1	23	1	14	38	89

各種委員会

予算現額	1,679 千円
決算額	986 千円
翌年度繰越額	0 千円

まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のもった行政経営を進めよう	(前年度決算額)	1,186 千円
----------	-----------------------------	----------	----------

委員編成2年目であることから、前年度と同じ委員構成により委員会を運営し、本会議上程後に付託された議案について審査を行いました。

総務民生常任委員会では、本会議において付託された議案15件（内請願2件）を審査し、可決13件、採択2件となりました。

文教産業常任委員会では、本会議に付託された議案19件（内請願6件）を審査し、可決13件、採択6件となりました。

予算決算常任委員会では、当初予算、補正予算の審査のほか、9月会議における決算認定の審査の際、振り返りとして委員から提案された各種事業を議論し、「委員長報告に盛り込むもの」「新年度予算に向けた提言として取り扱うもの」を整理しました。提言としては、「ふるさと納税について新たな探求・開拓を要望」「集落支援員のなり手の拡大要望」「獣害対策事業の更なる拡充」「継続的消防力強化」の4項目を取りまとめ、市長へ手交しました。

議会改革推進特別委員会は、平成30年5月15日、8月30日の2回開催しました。決定事項としては、専決処分事項に追加として、「災害及び突発的な事故等により、必要となる維持補修、工事及び支援活動で緊急を要する歳入歳出予算を補正すること。」また、「会計年度終了後において歳入が歳出に不足する場合に繰上充用金として補填するために歳入歳出予算を補正すること。」の2件を追加しました。さらに、行政視察後の報告書の作成、各委員会における月1回の任意の委員会の開催による情報共有の場の設定、議選監査委員の選出の継続、本会議でのパネル使用画像の電子データでの執行部への提供、クールビス期間中の本会議における上着着用の自由などを決定しました。

広報広聴委員会は、市議会だより「わたしの議会。」を年5回（5月、6月、8月、11月、2月）発行したほか、議会報告会・意見交換会である「TOBAミライトーク」の申し込みがあった2団体（鳥羽商船高等専門学校電子機械工学科、鳥羽磯部漁業協同組合）と「鳥羽市の観光、漁業、防災、生活の4テーマについての現状と課題」、「漁業権の見直し等水産政策の改革関連について」をそれぞれテーマとして開催いたしました。

また、新たな取り組みとして、市民の皆さんに鳥羽市議会を「もっと身近に感じ」「もっと仕組みを理解してもらおう」ことを目的に8月10日に夏休み企画（小中学生対象）「議会開放デー」を開催しました。

委員会における行政視察では、総務民生常任委員会、文教産業常任委員会、議会運営委員会の

各種委員会

3つの委員会においてそれぞれ実施しました。

総務民生常任委員会視察は、平成30年11月15日～16日の2日間の行程で広島県三原市へ①救急艇の導入経過と現状の課題及び今後の運用計画等について、②離島在住高齢者に対する各種支援策についてを調査するため行政視察しました。

救命艇の導入・運用については、参加した委員の総意として、離島に住む高齢者だけでなく住民全体の安心につながり、夜間休日に医師不在の現状に対する心配事の緩和につながると期待できるものでありました。ただし、救命艇建造に係る費用に対する国・県等の補助金メニューの調査や建造・運用開始後に生じる経費の比較検討が必要であり、また運営に関する人材や体制及び予算確保など、今後の更なる研究の必要性があります。

文教産業常任委員会視察は、平成30年7月5日～6日の2日間の行程で岐阜県高山市と飛騨市に行政視察しました。高山市では、①インバウンド観光の取り組みについてをテーマとして、飛騨市では、飛騨市長の取り組みとインバウンド観光について視察しました。

高山市のインバウンド観光は、海外へのPRとして観光ホームページの多言語化（11言語）や公衆無線LANによるインターネット接続を7日間無料にし、登録すると観光、緊急情報などを発信して、滞在中の観光スポットや災害時の情報を一斉配信するなど、外国人旅行者が楽しみ、安心して観光してもらうように配慮されていました。

また飛騨市長の取り組みでは、飛騨市の観光パンフレットに近隣の観光スポットや資源を掲載するなど、「他市の魅力も飛騨市の魅力」と考え、広域でのPRを行っています。

さらに、楽天との連携や飛騨市ファンクラブ事業、ふるさと納税サイト、耕作放棄地利用、ドローンの活用など一体的に効率よく、飛騨ファンを増加させるなど視点の違った発想で、より市民に寄り添った行政運営が進められていました。

議会運営委員会視察は、平成30年10月18日～10月19日に愛知県岩倉市と千葉県柏市を訪問し、「議会改革の取り組みについて」行政視察を行いました。

岩倉市議会では8月から「100人の議会サポーター制度」を導入しています。現在22名のサポーターが傍聴するなどの良い変化が生まれています。

また、岩倉市への行政視察に際し、黒川議長は「公務で都合のつかない議員以外は全員で視察対応しており、視察対応に出席対応することにより、自分自身も勉強になり、議員力、議会力の向上につながる。そして他市の先進事例も学ぶことができる。」と話されていました。

柏市議会では、視察直後の定例会の全員協議会を本会議場で行い、副委員長が10分程度150インチのスクリーンとプロジェクターを使用して報告し、行政視察の成果を議員と執行部が共有していました。

これら委員会の視察実績を参考に、鳥羽市議会として取り組めるものを精査・検討し、本市議会運営等に結び付けていきます。

- 主な経費 旅費 986千円（費用弁償 770千円、普通旅費 216千円）

1. 委員会の開催状況

委員会名	日数	出席人員	開催日
議会運営委員会	10日	56人	H30 5/10、6/1、7/11、8/30、10/23、 11/28
			H31 2/22、3/20、3/27、3/29

各種委員会

総務民生常任委員会	5日	30人	H30	6/18、9/14、10/26、12/13
			H31	3/11
文教産業常任委員会	6日	41人	H30	6/19、9/18、12/14
			H31	3/12、3/27、3/29
予算決算常任委員会	15日	177人	H30	6/20、7/17、9/6、9/19、9/20、 9/21、9/25、9/26、12/17
			H31	3/13、3/14、3/18、3/19、3/20、 3/27
議会改革推進特別委員会	2日	24人	H30	5/15、8/30
全員協議会	10日	126人	H30	5/15、6/15、6/26、8/30、9/13、 10/29、12/3、12/21
			H31	3/7、3/29
広報広聴委員会	8日	55人	H30	4/4、5/15、7/3、7/17、7/31、 10/9、12/3
			H31	1/7
合計（延べ数）	56日	509人		

2. 委員会の付託議案・可決状況

委員会名	会議月	付託議案数	可決数	否決数
総務民生常任委員会	9月	1件	1件	
	10月	1件	1件	
	12月	3件(1件)	3件(1件)	
	3月	10件(1件)	10件(1件)	
	合計	15件(2件)	15件(2件)	

() 数は、正数字の内の請願数を示す。

委員会名	会議月	付託議案数	可決・採択数	否決・不採択数
文教産業常任委員会	6月	4件(2件)	4件(2件)	
	9月	4件(4件)	4件(4件)	
	12月	1件	1件	
	3月	10件	10件	
	合計	19件(6件)	19件(6件)	

() 数は、正数字の内の請願数を示す。

委員会名	会議月	付託議案数	可決・認定数	否決・不認定数
予算決算常任委員会	6月	1件	1件	
	7月	1件	1件	
	9月	7件(2件)	7件(2件)	
	12月	7件	7件	
	3月	12件	12件	
	合計	28件(2件)	28件(2件)	

() 数は、正数字の内の認定数を示す。

各種委員会

3. 請願の受理状況

件名	上程年月日 委員会	結果
種子法廃止に伴う万全の対策をもとめる請願	H30. 6. 6 文教産業	H30. 6. 26 採 択
船津町字樋ノ山に建設予定の太陽光発電所に反対決議を求める請願	H30. 6. 6 文教産業	H30. 6. 26 採 択
義務教育費国庫負担制度の充実を求める請願	H30. 9. 6 文教産業	H30. 10. 2 採 択
教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める請願	H30. 9. 6 文教産業	H30. 10. 2 採 択
子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求める請願	H30. 9. 6 文教産業	H30. 10. 2 採 択
防災対策の充実を求める請願	H30. 9. 6 文教産業	H30. 10. 2 採 択
三重県立鳥羽高等学校の活性化に関する鳥羽市からの支援の充実を求める請願	H30. 12. 3 総務民生	H30. 12. 21 採 択
「核兵器禁止条約」に署名・批准を求める請願	H31. 2. 27 総務民生	H31. 3. 27 採 択

4. 委員会行政視察

委員会名	年月日	視察先	視察内容	備考
議会運営委員会	H30 10/18 ～ 10/19	愛知県岩倉市	議会基本条例の見直し及び 検証、議員視察対応等について	委員6名 及び 議長
		千葉県柏市	プロジェクター等議場設備、議会 広報等について	
総務民生常任委員会	H30 11/15 ～ 11/16	広島県三原市	救急艇の導入経過と現状の 課題及び今後の運用計画等 について	委員5名
文教産業常任委員会	H30 7/5 ～ 7/6	岐阜県高山市	インバウンド等観光の取り 組みについて	委員7名
		岐阜県飛騨市	飛騨市長の取り組みについ て	

議会一般管理経費		予算現額	133,650千円
		決算額	130,390千円
		翌年度繰越額	0千円
まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心こもった行政経営を進めよう	(前年度決算額)	130,619千円
<p>「行政視察受け入れ」</p> <p>議会基本条例施行（平成23年4月）から7年目に入り、県内外の自治体等から行政視察の申し込みや問い合わせも多い中、通年会期制による本会議等の開催スケジュールを考慮した視察受入対応を継続して努めております。</p> <p>本市の説明員は、正副議長、事務局3名及び視察テーマに基づく各委員長が出席し、きめ細やかな説明を行っています。</p> <p>【三田市・鳥羽市の友好都市交流事業】</p> <p>平成30年10月11日～12日に友好都市の兵庫県三田市を鳥羽市議会として訪問し、三田市の小中学校の適正規模・適正配置について、三田市教育長等から話を伺い、両市の議員間で意見交換を行いました。また翌日は、本市の神島小学校と交流のある三田市立母子小学校を視察し、母子小学校の取り組みや小規模特認校制度などの概要を学びました。</p> <p>【田原市議会・鳥羽市議会の議会交流会事業】</p> <p>平成30年11月5日に友好交流協定締結市議会の愛知県田原市議会議員18名と鳥羽市議会議員13名で議会交流会を鳥羽市において実施しました。</p> <p>視察先として、鳥羽市立海の博物館を訪問し、平賀館長から海女に関することや展示物などの説明を伺いました。また視察後は、研修事業として皇學館大学 教育開発センター助教の池山敦氏より「地域と協働・連携する議員力の向上について」と題し、合同研修を行いました。</p> <p>○ 主な経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人件費 議員報酬 55,430千円 ・ 委託料 会議録デジタル音声データ反訳及び会議録作成業務 1,188千円 会議録検索システムデータ作成業務 271千円 ・ 備品購入費 議会中継装置機能拡張機器一式 155千円 ・ 負担金補助及び交付金 全国市議会議長会 306千円、全国離島振興市町村議会議長会 50千円 東海市議会議長会 89千円、全国温泉所在都市議会議長協議会 17千円 三重県市議会議長会 23千円、中南勢都市議会議長会 24千円 国際特別都市議会議長協議会 16千円、研究会等参加 1千円 政務活動費 1,343千円 <p>1. 議長会出席状況</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 全国市議会議長会 3回 (2) 全国離島振興市町村議会議長会 4回 (3) 東海市議会議長会 3回 (4) 三重県市議会議長会 2回 (5) その他の議長会関係 3回 (6) 中南勢都市議会議長会 1回 (7) 伊勢志摩地域市町議会連絡協議会 1回 			

議会一般管理経費

2. 市議会だより「わたしの議会。」の発行

発行日 5月1日、6月1日、8月1日、11月1日、2月1日 総発行部数 40,750部

3. 田原市議会と鳥羽市議会合同研修会

・平成30年11月5日

講師 池山 敦氏(皇學館大学教育開発センター 助教)

テーマ：「地域と協働・連携する議員力の向上について」

4. 議会報告会・意見交換会（TOBAミライトーク）の開催状況

申込団体名	開催日	参加人数	話し合ったテーマ
鳥羽商船高等専門学校 電子機械工学科	H30 4月12日	73人	鳥羽市の観光、漁業、防災、生活の4テーマについての現状と課題
鳥羽磯部漁業協同組合	H31 1月17日	3人	漁業権の見直し等水産政策の改革関連について

5. 行政視察団体来庁数 28団体268人（議会对応 22団体220人、執行部対応 6団体48人） （県外：26団体249人、県内：2団体19人）

月	団体名	人数	視察内容
4	富山県小矢部市	6	議会改革の取り組み状況、議会報告会の開催状況、IT化の推進状況(タブレット導入)について
	京都府亀岡市	10	議会改革について(改革の取り組み全般について)
5	福岡県中間市	10	議会改革の取り組みについて
	広島県廿日市市	8	インバウンド受け入れ推進について
7	島根県出雲市	12	議会改革全般について
	北海道北斗市	6	鳥羽市農水産物直売所「鳥羽マルシェ」について
	三重県御浜町	9	タブレット端末を利用した運用、タブレット端末の導入に至る経過について
	鹿児島県日置市	9	予算決算常任委員会審査状況及びIT化の推進について
	愛知県阿久比町	8	リサイクルパークの視察・ごみの減量について
8	東京都小金井市	12	ICT化の推進について(その他、議会改革全般)
	三重県議会	10	移住や地域活性化、地域おこし等取組概要や今後の展望等について
	静岡県菊川市	10	議会改革について
	埼玉県所沢市	12	議会図書室における県立図書館、市立図書館との連携、広報広聴に係る取り組みについて
	岐阜県高山市	10	広報広聴委員会の取り組み、市民意見交換会(ミライトーク)、議会広報紙の作成について

議会一般管理経費

10	茨城県那珂市	10	議会改革全般、議会の広報広聴活動について
	滋賀県犬上郡町村議会 会議長会	12	I T Cを活用した議会運営、インターネット活用の手法等について
	群馬県吉岡町	10	予算決算の審査状況等、予算決算審査のI T化について
11	岩手県盛岡市	12	議会改革の取り組みについて
	鹿児島県指宿市	9	議会改革の取り組み（パネル等の取扱い要領、議会報告会（TOBAミライトーク）、議員研修会についてなど
	大阪府堺市	8	議会改革について
	広島県大崎上島町	7	離島漁業再生支援交付金事業、水産業振興支援事業の取組状況について
1	岐阜県美濃加茂市	10	議会改革の取り組みについて
	岐阜県土岐市	9	政治倫理条例の制定・改正、通年会期について
	佐賀県嬉野市	7	議会改革、議会基本条例、傍聴規則の見直しについて
	長野県千曲市	5	議会改革、広報、広聴、IT化の推進、議員定数、議員報酬について
	兵庫県加東市	18	予算決算常任委員会について
	山口県光市	9	避難勧告等の判断・伝達マニュアル、防災情報相互通報システム、鳥羽市津波避難ルート検索webサイトについて
2	山梨県山梨市	10	議会改革の取り組み（・議会報告会及び意見交換会の実施・タブレット議会の検討等）
28団体		268	

【参考】平成29年度行政視察受入 31団体237人

議会対応 22団体193人（全件県外）

執行部対応 9団体44人（全件県外）

6. 議会インターネット中継視聴数

YouTube

再生回数 8,120回/年（H30.4.1～H31.3.31）

会議名	登録数	延べ登録時間
本会議	42	29:08:42
議会運営委員会	9	3:05:09
総務民生常任委員会	5	5:33:00
文教産業常任委員会	6	3:52:53
予算決算常任委員会	22	53:59:56
議会改革推進特別委員会	3	2:16:44
全員協議会	12	7:52:45
その他（真珠議会）	1	0:16:18
合計	100	106:05:27

議会一般管理経費

7. 議員別政務活動費の支出状況

議員名	交付 決定額	調査 研究費	研修費	広報費	要 請 ・陳情 活動費	資 料 購入費	事務費	支 出 合計額	返還額
奥村 敦	156,000						17,929	17,929	138,071
片岡 直博	156,000				30,040		32,681	62,721	93,279
河村 孝	156,000	44,040					18,425	62,465	93,535
山本 哲也	156,000	105,222					26,106	131,328	24,672
木下 順一	156,000			150,600		5,400		156,000	0
井村 行夫	156,000		69,900			86,100		156,000	0
中世古 泉	156,000							0	156,000
戸上 健	156,000			156,000				156,000	0
浜口 一利	156,000					44,712	34,138	78,850	77,150
坂倉 広子	156,000		84,970			50,322	18,722	154,014	1,986
世古 安秀	156,000			137,603		18,397		156,000	0
橋本 真一郎	156,000							0	156,000
尾崎 幹	156,000	119,298		35,082		1,620		156,000	0
坂倉 紀男	156,000					45,360	10,437	55,797	100,203
合 計	2,184,000	268,560	154,870	479,285	30,040	251,911	158,438	1,343,104	840,896